労働安全衛生法 一部改正 2023/4/1～

ホルムアルデヒドによる健康障害を防ぎ作業環境を改善しましょう

FALMA
www.falma.co.jp

● 有害物質 ホルムアルデヒド のばく露を減らすには？ → 有害物質の代替

ファルマの提案 低毒性のホルマリン代替品の導入でばく露を軽減

ホルマリン代替品のメリット

生検材料用 ボトルタイプ

1 ガロン / 5 ガロン

ALTFiX（アルテフィックス）について

導入は簡単！病理検査室以外で使用するホルマリンを ALTFiX に置き換えるだけ！

ALTFiX に浸漬した検体を 3 時間以内にホルマリンに移し替える事で、ホルマリンと同様の染色性が得られる事が確認されています

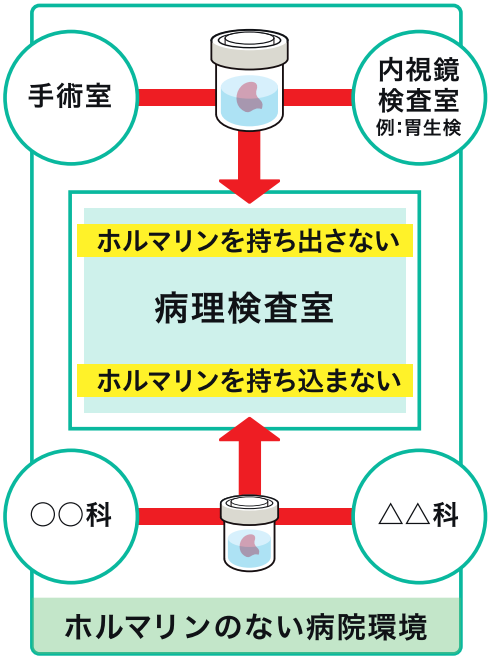
■ 使用上の注意

酵素抗体法における Ki-67、ER、PgR の染色性が弱い事が報告されています。上記の染色を行う可能性がある場合は ALTFiX 固定は避けてください

ALTFiX は GHS 分類上で皮膚感作性の区分が 1 となるため、“皮膚等障害科学物質等への直接接触の防止” に該当し、また 2025 年度からリスクアセスメント対象物となります

ホルマリンの有害性・デメリット

● 導入例：病院内での検体採取と運搬



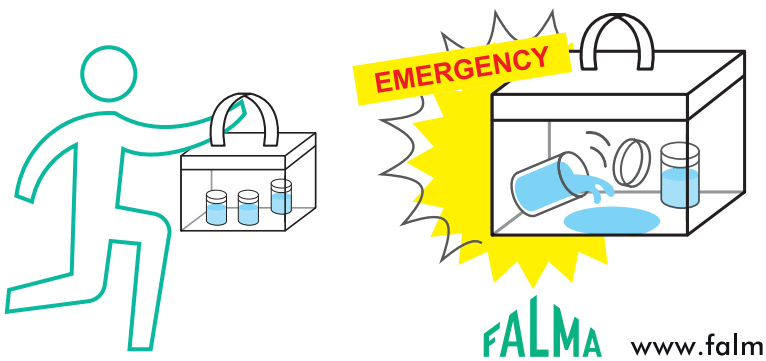
ALTFiX（アルテフィックス）の活用①

ホルマリンは病理検査室で一元管理されますが、内視鏡室や手術室など病理検査室外で使用するシーンが多くあります。

共用スペースで発がん性のあるホルマリンが漏洩した場合、ばく露する重大事故のリスクが大きいため、病理検査室外ではホルマリン代替品を使用する運用が少しずつ増えています

！ 運搬中に院内でホルマリンが漏れてしまった！

使用シーン例：ホルマリン容器を運搬ケースに入れ、患者様も利用する共用スペースを通って移動する。…etc.



“リスクアセスメントの実施”義務化　ALTFiX（アルテフィックス）の活用②

2016 年 6 月に労働災害を防止するために取り扱う化学品に対し**“リスクアセスメントの実施”が義務化されました**

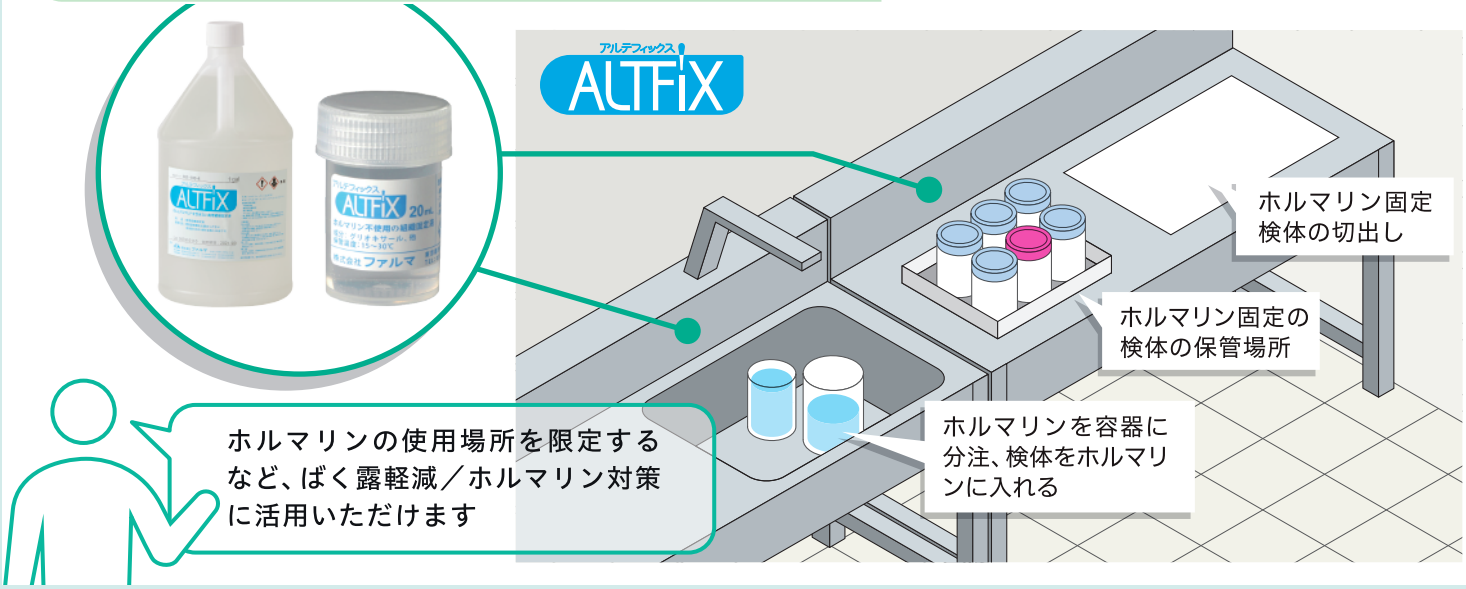
さらに 2022 年 2 月に改正、2024 年 4 月から順次、リスクアセスメント対象物の拡大・追加がされていきます。これに伴い多くの事業場では有害性の低い化学物質への見直しが増えています

化学物質規制対象の増加

安衛法の改正を経て、リスクアセスメント実施の義務の対象となる物質（リスクアセスメント対象物）に、国による GHS 分類で危険性･有害性が確認された全ての物質が順次追加されました。これによりこれまでの対象 674 物質が約 3000 物質となりました。

☆リスクアセスメント対象物は2026年度にかけて徐々に増えます

● 導入例：病理検査室、研究室の作業環境改善



サンプル配布キャンペーン第 2 弾！　安衛法キャンペーン 2024

② ホルマリン代替品 サンプルプレゼント

期間中お問い合わせいただいたユーザー様に
アルテフィックスのサンプルをプレゼント！

〔対象製品〕

ALTFiX（アルテフィックス）

〔キャンペーン期間〕

2024/8月～10月末まで

サンプル配布期間：2024/8月～2024/10/31

詳細は営業担当までお問い合わせ、またはファルマHPをご参照ください

・アルテフィックスはホルマリンに比べて低毒性です
・ホルマリンの刺激臭・催涙性から解放されます

「安衛法 キャンペーン2024」特設ページはこちら！

安衛法改正の対応、作業環境改善についてのご相談、
製品の使用方法・サンプル依頼などお問い合わせください

2407001

株式会社 ファルマ
www.falma.co.jp